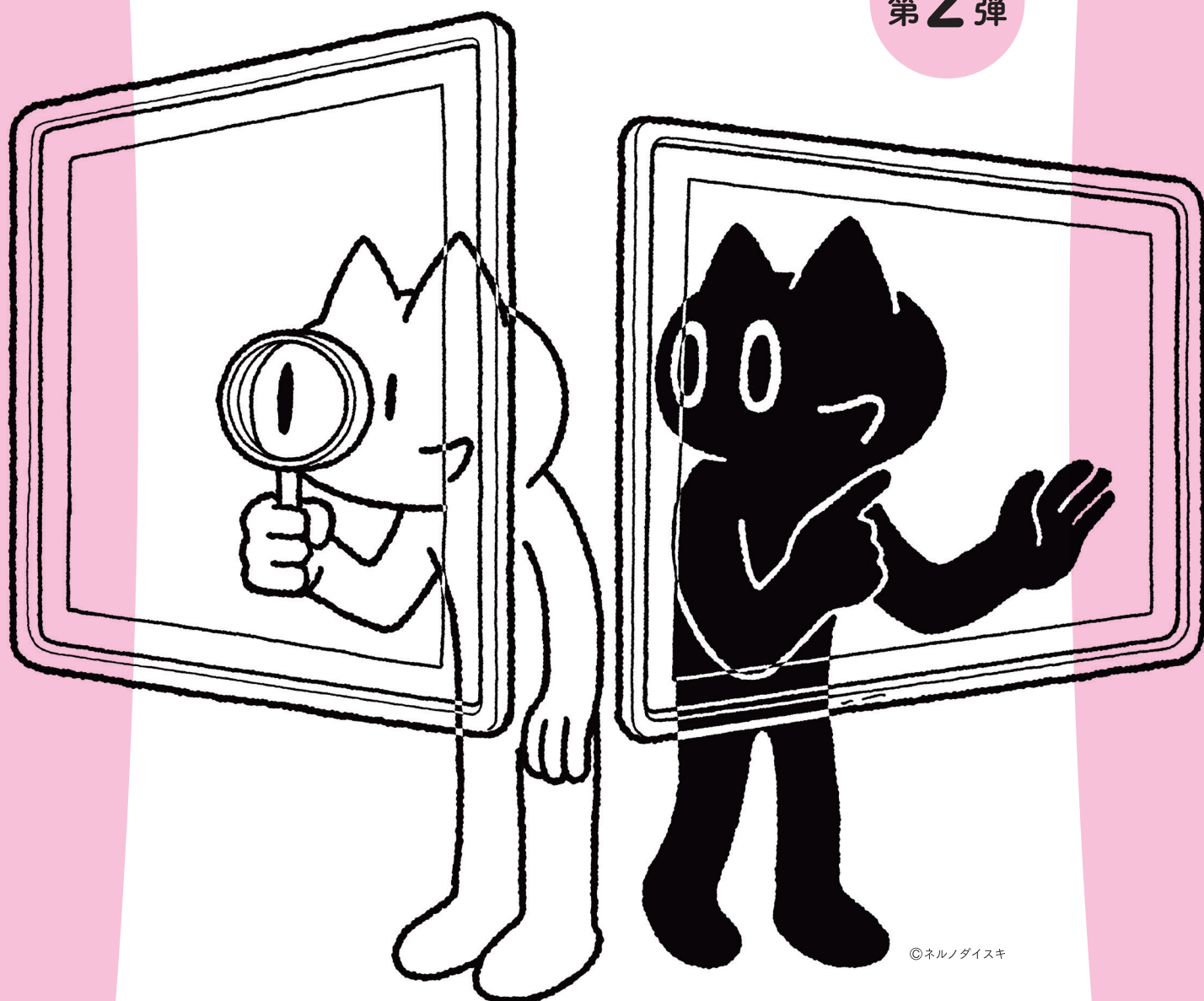


講演会×鑑賞会

ココがすごい!

版美のコレクション。

第2弾



©ネルノダイスキ

2026年

4月12日(日)、26日(日)、5月3日(日)、17日(日)、6月7日(日)

全5回

ゲスト講師陣・当館館長・学芸員

町田市立国際版画美術館 企画展示室

参加無料

当日先着順(定員60名) ※作品保護のためマスクもしくはハンカチをご持参ください



町田市立国際版画美術館は約3万3000点もの作品を収蔵する、世界でも珍しい版画専門の美術館です。版画を中心に約40年間集めてきたコレクションは実に多種多様。様々な技法から生みだされる版画ならではの表現の魅力はもちろんのこと、版画が映しだしてきた文化や社会の動きなども知ることができる充実の内容となっています。

好評のうちに終了した昨年の第1弾に続き、さらに内容を充実させてお送りする今回は、ゲストに佐々木守俊氏(清泉女子大学総合文化学部教授)と富岡進一氏(郡山市立美術館学芸課長)をお呼びします。さらに当館館長大久保純一・学芸員2名が講演し、各回とも関連する作品を展示します。作品を間近に熟覧しながら、ユニークな視点の作品の見かたや最新の調査研究の成果を聞くことのできる貴重な機会です。皆様のご参加をお待ちしております。

- 1 4月12日(日) 大久保純一(当館館長) 「広重：東海道五拾三次の魅力」
- 2 4月26日(日) 藤村拓也(当館学芸員) 「版画のなかの道化：プラントの『阿呆船』からベックマンへ」
- 3 5月3日(日) 佐々木守俊(清泉女子大学総合文化学部教授) 「木版画になった仏たち：印仏・摺仏の世界」
- 4 5月17日(日) 宮崎黎(当館学芸員) 「天災と浮世絵：^{なま}鯨絵、^{はしか}麻疹絵のおかしみ」
- 5 6月7日(日) 富岡進一(郡山市立美術館学芸課長) 「美・ピクチャレスク・^{さうこう}崇高：ターナー版画の視覚宇宙と人新世の環境学」

[時間] 14時～15時30分(講演：1時間、作品熟覧：30分を予定) [会場] 町田市立国際版画美術館 企画展示室

参加無料 当日先着順(定員60名) ※作品保護のためマスクもしくはハンカチをご持参ください



1 歌川広重《東海道五拾三次之内 池鯉鮒 首夏馬市》
天保4年頃(1833)、横大判錦絵



2 ゼバルト・ペーハム《二人の道化》
1541年頃、エングレーヴィング



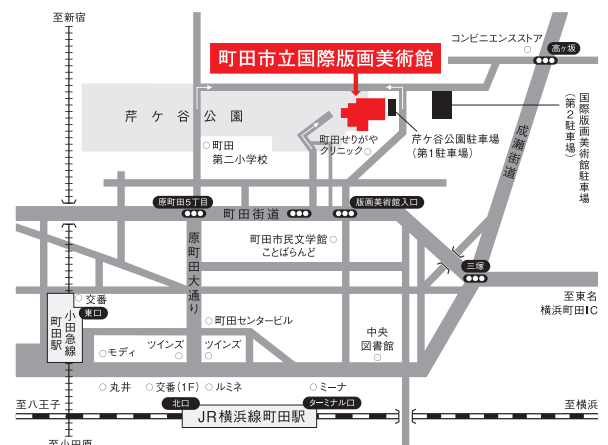
4 《治る御代 ひやかし鯨》
安政2年(1855)、大判錦絵



3 《吉祥天立像印仏 浄瑠璃寺吉祥天立像内納品》
建暦2年(1212)、木版



5 J・M・W・ターナー
『イングランドおよびウェールズの
ピクチャレスな風景』より
「ストーン・ヘンジ」
1837年刊、
スティール・エングレーヴィング



小田急線・JR横浜線町田駅より徒歩15分

※作品はすべて当館蔵

同時開催

特集展示「おかしみとかなしみ：道化の世界」
3月27日(金)～6月14日(日) 常設展示室 入場無料

町田市立国際版画美術館
Machida City Museum of Graphic Arts

〒194-0013 東京都町田市原町田4-28-1
TEL 042-726-2771 <https://hanga-museum.jp/>
お問い合わせ: 042-722-3111 (町田市役所代表電話)



 @machida_hanbi